



# パフォーマンスしきい値ポリシーのページの説明

## Active IQ Unified Manager 9.8

NetApp  
April 16, 2024

# 目次

パフォーマンスしきい値ポリシーのページの説明 .....	1
Performance Thresholdsページ .....	1
パフォーマンスしきい値ポリシーの作成ページまたはクローンポリシーのページ .....	2
パフォーマンスしきい値ポリシーの編集ページ .....	3
パフォーマンスしきい値ポリシーの割り当てページ .....	4
パフォーマンスしきい値ポリシーのページをクリアします .....	4

# パフォーマンスしきい値ポリシーのページの説明

パフォーマンスしきい値ポリシーの作成、編集、クローニング、削除、表示には、パフォーマンスしきい値ページを使用します。

以下のトピックは、該当するページの\*ヘルプ\*をクリックすると表示されます。

## Performance Thresholdsページ

Performance Thresholdsページを使用すると、現在定義されているすべてのパフォーマンスしきい値ポリシーを表示できます。このページには、しきい値ポリシーを作成、クローニング、編集、および削除する機能も用意されています。

パフォーマンスしきい値ポリシーのリストは、ポリシー名のアルファベット順にソートされます。列ヘッダーをクリックすると、その列でポリシーをソートできます。特定のポリシーを検索する場合は、フィルタと検索を使用して、インベントリリストに表示するしきい値ポリシーを絞り込むことができます。

### フィルタと検索バー

[Filtering]ボタンを使用すると、特定の条件に一致するポリシーのみを表示して、しきい値ポリシーのリストを絞り込むことができます。

- Search \*ボタンを使用すると、ポリシー名の全体または一部を入力して特定のポリシーを検索し、インベントリリストに表示するしきい値ポリシーのリストを絞り込むことができます。

### コマンドボタン

- \* 作成 \*。

新しいパフォーマンスしきい値ポリシーを作成します。

- \* クローン \*

選択したポリシーのコピーに基づいて、新しいパフォーマンスしきい値ポリシーを作成します。

- \* 編集 \*。

選択したパフォーマンスしきい値ポリシーを変更します。ポリシーを使用しているすべてのストレージオブジェクトが、改訂したポリシーを使用するように更新されます。

- \* 削除 \*

選択したパフォーマンスしきい値ポリシーを削除します。ポリシーを使用しているすべてのストレージオブジェクトからポリシーが削除されます。[関連オブジェクト]列の項目をクリックすると、このポリシーを現在使用しているオブジェクトを表示できます。

## しきい値ポリシーのリスト

- \* ポリシー名 \*

しきい値ポリシーの名前が表示されます。ポリシー名にカーソルを合わせると、ポリシーの詳細を確認できます。

- \* 概要 \*

しきい値ポリシーの簡単な概要が表示されます。

- 最初の条件

しきい値ポリシーの第1条件が表示されます。定義済みのパフォーマンスカウンタおよび警告トリガーの値と重大トリガーの値が含まれます。条件名にカーソルを合わせると、条件の詳細を確認できます。

- \* 2番目の条件\*

セカンダリしきい値ポリシーの条件が定義されている場合は表示されます。条件名にカーソルを合わせると、条件の詳細を確認できます。2番目の条件が定義されていない場合、この列は空白になります。



第2条件が定義されている場合は、両方の条件に違反している場合にのみイベントが生成されます。

- 関連オブジェクト

しきい値ポリシーを適用可能なストレージオブジェクトのタイプ、およびポリシーを使用しているオブジェクトの数が表示されます。少なくとも1つのオブジェクトにポリシーを割り当てるまで、このフィールドは空白になります。

列見出しをクリックすると、ボリューム、LUN、アグリゲートなど、オブジェクトタイプ別にポリシーをソートできます。ポリシー名をクリックすると、現在しきい値ポリシーを使用しているオブジェクトを含むインベントリページを表示できます。

## パフォーマンスしきい値ポリシーの作成ページまたはクローンポリシーのページ

Create Performance Threshold PolicyページまたはClone Threshold Policyページを使用すると、新しいパフォーマンスしきい値ポリシーを作成できます。

このページのフィールドに値を入力し、\* Save \*をクリックしてパフォーマンスしきい値ポリシーを追加できます。

- オブジェクトタイプ

しきい値ポリシーを作成するストレージオブジェクトのタイプを選択します。

- \* ポリシー名 \*

しきい値ポリシーの名前を入力します。この名前は、Unified Managerの他のページに表示されます。ポリ

シーの簡単な概要 を入力してください。

- \* 概要 \*

(オプション) しきい値ポリシーの詳細な概要 を入力します。

- しきい値

プライマリおよびオプションでセカンダリのしきい値カウンタの条件を定義します。セカンダリカウンタを使用する場合、しきい値を超えたとみなされるには、両方のカウンタが制限値を超える必要があります。

- カウンタを選択

パフォーマンスしきい値を設定するカウンタを選択します。

- \* 警告 \*

警告とみなすカウンタの制限値を入力します。

- \* 重要 \*

重大とみなすカウンタの制限値を入力します。

しきい値の有効な値は、数値については 0.001~10、000、000、割合については 0.001~100、使用済みパフォーマンス容量の割合については 0.001~200 です。

- \* 期間 \*

カウンタの値が警告または重大の制限値よりも大きい時間を分単位で選択してください。Unified Manager は新しいパフォーマンスカウンタの値を5分ごとに収集するため、メニューには5の倍数がオプションとして表示されます。

## パフォーマンスしきい値ポリシーの編集ページ

Edit Performance Threshold Policyページを使用すると、既存のパフォーマンスしきい値ポリシーを変更できます。

このページのフィールドを変更し、\*保存\*をクリックしてパフォーマンスしきい値ポリシーを変更できます。そのしきい値ポリシーを現在使用しているすべてのクラスタオブジェクトが自動的に更新され、新しいポリシー定義が使用されるようになります。

- オブジェクトタイプ

オブジェクトタイプは変更できません。

- \* ポリシー名 \*

しきい値ポリシーの名前を変更します。

- \* 概要 \*

しきい値ポリシーの詳細な概要 を変更します。

- しきい値

プライマリおよびオプションでセカンダリのしきい値カウンタの条件を変更します。

- カウンタを選択

パフォーマンスしきい値を設定するカウンタを変更します。

- \* 警告 \*

警告とみなすカウンタの制限値を入力します。

- \* 重要 \*

重大とみなすカウンタの制限値を入力します。

- \* 期間 \*

カウンタの値を警告または重大の制限値よりも大きくする必要がある分数を変更します。

## パフォーマンスしきい値ポリシーの割り当てページ

パフォーマンスしきい値ポリシーの割り当てページを使用して、1つ以上のストレージオブジェクトにパフォーマンスしきい値ポリシーを割り当てることができます。

ポリシーのリストには、選択したストレージオブジェクトタイプに適したポリシーのみが表示されます。

オブジェクトに適用するポリシーを選択し、\*ポリシーの適用\*をクリックします。

ポリシーを適用する場合、たとえば、2つ目のカウンタにノードオブジェクトまたはアグリゲートオブジェクトが含まれているFlexGroup ボリュームに組み合わせポリシーを適用する場合などに、いくつかのケースでエラーメッセージが返されることがあります。FlexGroup ボリュームは複数のノードやアグリゲートに分散している可能性があるため、この処理は許可されません。

## パフォーマンスしきい値ポリシーのページをクリアします

パフォーマンスしきい値ポリシーのクリアページを使用して、1つ以上のストレージオブジェクトからパフォーマンスしきい値ポリシーを削除またはクリアできます。

ポリシーのリストには、選択したオブジェクトで使用されているポリシーのみが表示されます。

ストレージオブジェクトから削除するポリシーを選択し、\*ポリシーのクリア\*をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。